

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科	子ども教育学科		
科目名称	特別支援教育総論						授業形態	講義	
科目コード	750134	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験担当教員	○	Active・L	○
担当教員名	川田 耕太郎							ICT活用	
授業概要	特別支援教育の理念や障害のある子どもへの教育の歴史等を学びながら、特殊教育からインクルーシブ教育システムの理念を踏まえた特別支援教育への展開を理解するとともに、特別支援学校の制度や特別支援学校教育要領・学習指導要領を踏まえた教育、特別支援学校の目的や教育課程、役割等について基礎的事項を理解する。 特別支援学校等での指導経験を活かし、学校の現状を踏まえながら理解を図れるようにする。								
関連する科目	障害児教育入門、特別支援教育、LD・ADHD等教育総論、自閉症等教育総論								
授業の方法と進め方	プレゼンテーションを用いた講義を中心としながら、ペアでの意見交換やグループによるディスカッションを行い、学生が自ら考えたり、他者と対話することを通して思考を深めていく機会を設ける。								
第1回	障害児教育 障害のある子どもへの教育の歴史 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）								
第2回	特殊教育の歴史 特殊教育の果たしてきた役割と障害者施策の動向 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）								
第3回	特別支援教育の歴史 障害者の権利に関する条約とインクルーシブ教育システムの理念 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）								
第4回	共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育 特別支援教育の理念や障害のある幼児児童生徒の教育、学びの場の概要 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）								
第5回	特別支援学校の役割 特別支援教育制度における特別支援学校の機能や役割 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）								
第6回	特別支援学校の教育 特別支援学校の目的と教育目標、教育課程の基準 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）								
第7回	特別支援学校の教育課程 重複障害者等に関する教育課程の取扱い 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）								
第8回	特別支援学校における各教科 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科等の指導 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）								
第9回	特別支援学校における各教科の指導の形態 教科別の指導と各教科等を合わせた指導 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）								
第10回	特別支援学校教育要領・学習指導要領における自立活動 自立活動の目標と六区分27項目の内容 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）								
第11回	自立活動の指導 個別の指導計画作成の基本的な考え、作成手順								

	指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）
第12回	特別支援学校の現状 特別支援学校に関する動向と子どもの生活の変化を踏まえた指導上の課題 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）
第13回	発達障害の理解と対応 学習上または生活上の困難さの背景と必要な対応 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）
第14回	校内外の関係者との連携 教員同士の連携や保護者、関係機関との連携の在り方 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）
第15回	特別支援教育の現状と課題 特別支援教育の推進を担う学校、教師の在り方 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）
授業の達成目標	1. 障害のある子供への教育の思想や歴史、特殊教育の果たした役割、障害者の権利に関する条約に基づくインクルーシブ教育システムの理念を踏まえた特別支援教育の展開を理解している。 2. 特別支援教育制度の動向と特別支援学校の機能・役割を理解している。 3. 特別支援学校の目的や教育要領・学習指導要領の役割や機能、意義を理解している。 4. 近年の特別支援教育の施策等を踏まえた特別支援学校の指導上の課題を理解している。
学位授与方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力－(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力－(1)／3.人間力、社会性、国際性の涵養－(2)
授業時間外学習【予習】	授業の中で自分の考えや他者との話し合いを行うため、各自で授業内容について確認や予習をしておく。（30分程度）
授業時間外学【復習】	学習内容の確認レポートや小テストを実施するので、復習しておく。（1時間程度）
課題に対するフィードバック	レポートや小テストについては、授業の中で解説をする。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する。 1) 授業中のペア・グループワーク参加への積極性、レポート、小テスト等の内容（20％） 2) 定期テスト(80％)
テキスト	テキストは使用せず、適宜プリントを配布する。
参考書	特別支援学校学習指導要領解説総則編（幼稚園・小学部・中学部）文部科学省（2017） 特別支援学校学習指導要領解説各教科等編（小学部・中学部）文部科学省（2017） 特別支援学校学習指導要領解説自立活動編（幼稚園・小学部・中学部）文部科学省（2017） 障害のある子供の教育支援の手引 文部科学省（2022）
備考	15年間、特別支援学校（知的障害、肢体不自由、病弱）、3年間、小学校に勤務。また、4年間、鹿児島県総合教育センター特別支援教育研修課において研究主事兼指導主事、4年間、鹿児島市教育委員会学校教育課において特別支援教育担当指導主事として勤務した。